



# 「小さな村、片品村で起こったこと」写真展

子どもたち、高齢者、受け入れ宿、医療介護活動、ボランティア…120日の記録

このたびの東日本大震災に際し、群馬県は広範な支援活動を行いました。その中で、片品村もすぐさま1,000人規模の避難民受け入れを表明。南相馬市から大型バス23台が3月18日深夜到着しました。その時から、人口5,000人あまりの、農業と観光を主な産業とする小さな村で支援活動が始まりました。

それは村内・村外近隣、前橋、高崎、東京、千葉に及ぶ多くの方から賛同を得て、片品村まで来て様々な専門領域での支援活動をしていただくまでに拡大し、人と人のネットワークを形成することになりました。この事実をボランティア活動の一つのあり方として、具体的に県民の皆様にご紹介いただくことは有意義なことと考え、県民ホールという場所を借りてご紹介させていただくことになりました。

## ■主な展示内容

- ・被災者・子どもたちの、片品村における日常生活を記録した写真
- ・ボランティアグループ「片品むらんていあ」と登録ボランティアの活動記録写真
- ・被災者の医療支援・健康維持のための、片品村健康管理センターの活動記録
- ・外部の視点による、片品村全体の被災者支援活動の記録（新聞、雑誌、個人）
- ・基礎データ（被災者受け入れ民宿・ペンション・ホテル名、要看護病人・患者の医療施療への搬送数累計、ボランティア協力者数累計、支援活動領域、他）
- ・片品村の現況、歴史紹介資料

**期日：2011年8月22日（月）～24日（水） 9:00～17:00（最終日15:00）**

**会場：群馬県庁1階県民ホール北（前橋市大手町1-1-1）**

■主催：片品むらんていあ「小さな村、片品村で起こったこと」写真展実行委員会（群馬県利根郡片品村大字鎌田3967-3中央公民館2F） ■後援：群馬県、片品村、片品村教育委員会、「東京写真月間2011」実行委員会（公社日本写真協会）、NHK前橋放送局、群馬テレビ、上毛新聞社、毎日新聞前橋支局、東京新聞、読売新聞前橋支局、朝日新聞前橋総局、富士フイルム、NTT東日本、ホンダカーズ群馬、ペガサス絆プロジェクトwith福島（ダイヤモンドペガサス・NPOぐんま）、前橋CITYエフエム（M-Wave） ■協力：沼田青年会議所、国際ソロプチミスト利根沼田、南相馬市の皆さん、沼田市の皆さん、前橋市の皆さん、高崎市の皆さん、アド・リブ、はな工房、高崎経済大学学生の皆さん